

4. 循環器科診療実績

高石篤志、大西伸彦、山田大介、香川健三、松尾直昭、長谷川操、山地達也、加藤雄一、林和菜、中野由加理

1. 循環器科人員：2016年4月の人事異動は、2016年3月31日付けで網岡尚史先生が岡山大学循環器内科へ帰局され、吉野智博先生が造田診療所へ転出された。4月1日付けで、加藤雄一先生が岡山大学から、岡山市の川崎病院で研修された林和菜先生が赴任された。また、2016年10月から、松山市民病院から育休明けで、午前中だけの勤務ではあるが、長谷川操先生が赴任され、8+2人体制となっている。

2. 入院治療実績：診療実績を表にまとめる。2011年以降は電子カルテサマリー一覧より、全病棟の症例数を手計算で集計したデータである。2015年度は虚血性心疾患の入院は650件、PCI件数は前年より増加し394件となった。また、心臓CTでの検査件数は666件と前年より増加しており、冠動脈スクリーニングの効率化がさらにすすんでいる。

心臓カテーテル治療では、2015年度のカテーテル検査総数は806件（緊急228件）、そのうちPCIは394件（緊急137件）であり、昨今の第2世代の薬剤溶出性Stent（DES：Drug Eluting Stent）の性能、安全性、治療効果が改善したため、2015年度では373症例に対して使用している。また、2014年1月から国内で使用可能となった薬剤コーテッドバルーン（DCB:Drug-Coated Balloon）も、昨年度はStent内再狭窄例に対して当院でも17症例で使用しており、今後の使用増加が予想される。さらに、閉塞性動脈硬化症を代表とする末梢動脈疾患（PAD:Peripheral arterial disease）に対する血管治療（EVT：Endovascular Treatment）は昨年度37件（緊急8件）と増加しており、世界的にPAD患者は増加していることも合わせて、今後のEVT症例は増加が予想される。

3. 脳血管疾患に関しては、電子カルテのシステム変更に伴い、2014年度以降は内科だけのサマリーからの集計となっており、2015年度は内科だけで223人の入院となっている。内科入院の患者数は概ね変わらないが、2014年度以降は脳神経外科での血栓溶解療法が適応となる超急性期の脳梗塞は集計には反映されていないこと、前述したPADの患者数は増加していることを考慮すると、脳血管疾患は増加していると推測される。

4. 当院では、急性冠症候群や心不全等で入院となった際にはパスを導入しており、退院日数の短期化や再入院予防を念頭においた管理をしており、リハビリや栄養指導、服薬管理等の多職種メディカルスタッフとも緊密に連携をとっている。

5. 臨床研究

2015年度は、網岡が男性の急性心冠症候群と尿酸値の関係に関して、高石がMDA-LDLのPCI前後の推移とその予後などの研究を深めており、冠疾患学会、日本循環器学会（地方会、総会を含む）、日本動脈硬化学会などで発表を行い、各研究会等でも積極的に発表している。

また、これまで同様、各Comedicalとも共同研究を継続しており、理学療法士との共同研究による心臓リハビリテーション関連の検討（高石）、放射線技師との共同研究による心臓CT関連での研究も、循環器学会、心臓リハビリテーション学会、冠疾患学会などで発表しており、病棟看護師との共同研究で心不全パスの利用効果についての研究を進め、日本循環器学会などで発表している。

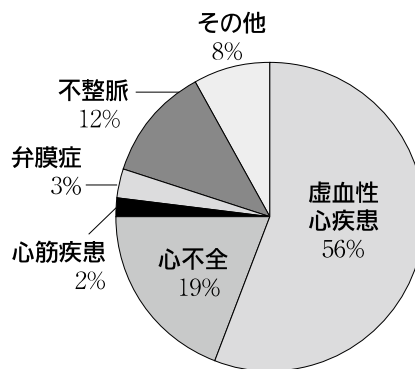
国際学会は、2015年度には網岡が17th International Symposium on Atherosclerosis（Amsterdam）で発表している。

記載：中野由加理

循環器病棟,CCU 年度別入院患者疾患別実数。(主病名。4月から翌年3月まで)

循環器病棟入院、主病名	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
狭心症	209	182	199	200	201	260	215	244	347	329	368	405	375	536	
陳旧性心筋梗塞	83	49	78	79	61	67	73	72	84	68	54	47	18	29	
急性心筋梗塞	75	76	70	73	78	73	63	87	49	74	85	64	81	85	
急性心不全	77	82	80	81	85	103	61	16	35	13	20	40	32	55	
慢性心不全	3	3	5	19	15	35	45	133	79	125	185	217	216	212	
弁膜症	9	12	19	5	12	18	27	31	18	38	21	29	16	20	
拡張型心筋症	11	7	12	8	10	11	12	13	7	7	5	7	3	5	
肥大型心筋症	4	2	5	2	1	2	2	1	3	1	2	2	1	2	
心筋炎、タコツボ、サルコイド	1	2	1	2	2	4	9	11	6	3	5	3	10	4	
先天性心疾患		1	0	0	0	2	0	3	1	3	2	2	0	1	
心膜炎、心タンポナーデ	1	0	2	1	2	5	7	4	3	4	5	2	5	9	
房室ブロック	13	11	11	18	16	19	14	11	15	22	7	9	3	6	
洞機能不全症候群	10	20	11	9	9	17	17	15	16	18	8	15	14	4	
心房粗細動、上室性頻拍	19	17	13	11	16	18	30	18	53	63	63	60	122	75	
心室性期外収縮、心室細動、心室頻拍	7	4	2	4	0	4	7	1	6	12	9	7	8	7	
アダムスストークス、失神	6	5	6	16	5	14	13	17	11	8	32	9	7	5	
ペースメーカー不全	1	7	4	1	2	7	2	3	2	4	0	0	4	0	
その他の不整脈	3	2	1	2	2	4	2	3	5	2	10	2	2	6	
低血圧	0	0	3	0	0	0	0	0	2	8	22	2	1	1	
高血圧	1	4	13	2	2	1	4	10	7	29	25	17	24	17	
閉塞性動脈硬化症	6	9	9	1	2	5	7	8	1	3	13	20	21	31	
大動脈炎	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2	1	3	2	1	
急性大動脈解離	3	4	11	5	5	10	8	5	9	16	10	13	15	17	
大動脈瘤	14	16	16	4	3	5	13	18	17	4	10	8	6	5	
深部静脈血栓症	0	4	0	0	1	2	0	1	2	7	4	1	8	11	
原発性肺高血圧	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	2	
肺塞栓症	0	4	6	2	3	6	5	1	3	2	9	8	12	9	
心臓腫瘍	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0	
総数	557	523	579	546	533	693	639	727	784	866	977	995	1006	1155	10580

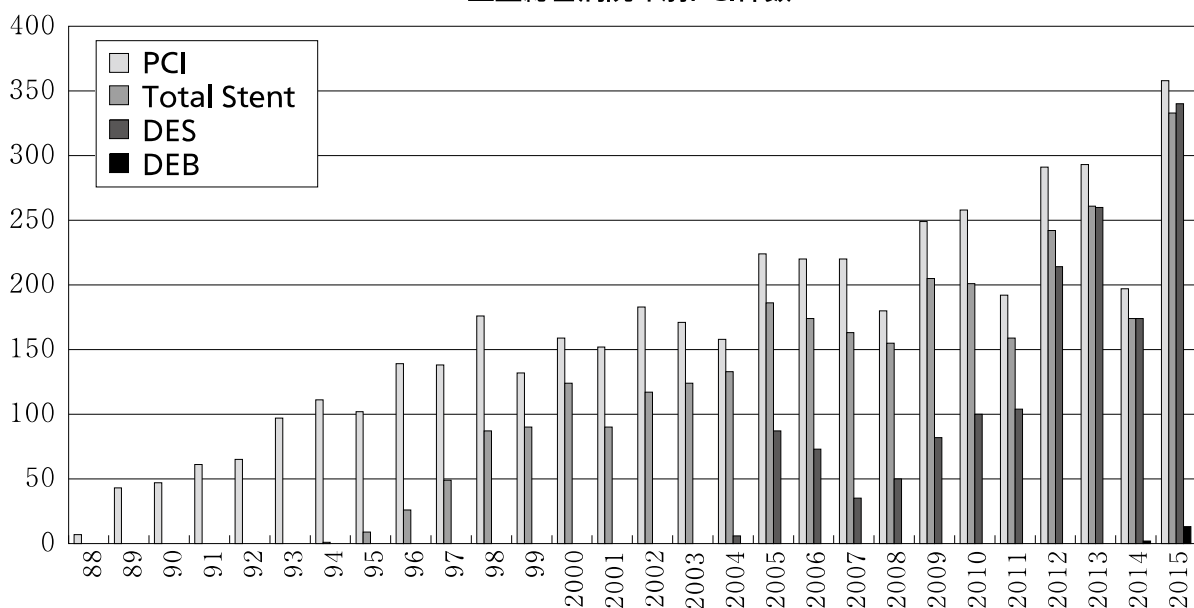
疾患内訳	2015年度	総数
虚血性心疾患	650	5965
心不全	267	2072
心筋疾患	11	211
弁膜症	20	275
不整脈	103	1251
その他	104	806
総計	1155	10580



CCU入院	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
急性心筋梗塞	71	74	78	84	88	101	84	63	78	27	42	28	
PCI後経過観察（数時間）	65	67	89	69	74	75	98	61	98	144	80	72	
PCI後一泊	45	40	14	21	26	23	13	20	9				
狭心症	16	17	22	21	28	25	25	32	39	7		7	
急性心不全	48	46	45	85	66	63	63	58	73	61	44	42	
房室ブロック、VT、Af、SSS	4	9	6	10	19	18	17	28	45	28	38	32	
急性大動脈解離	9	10	7	8	6	2	3	8	8	13	13	15	
肺塞栓	6	3	2	1	5	0	0	1	0		1	1	
その他	18	18	14	39	17	19	3	9	13	7	15		
総数	282	284	277	338	329	326	306	280	363	287	233	197	3502

脳卒中入院（内科+脳外科入院総計）	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
脳梗塞	497	282	364	312	248	201	219	
lacunar梗塞		91	87	69	32	26	36	
アテローム血栓性脳梗塞		74	124	155	162	125	133	
心原性脳塞栓		31	47	45	24	26	19	
一過性脳虚血発作		33	46	39	30	24	25	
その他		53	60	4	0	0	6	
脳内出血	77	105	73	77	59		3	
くも膜下出血	30	18	25	22	26		1	
総数	604	405	462	411	333			
内科		281	301	242	179	402	438	1843

三豊総合病院年別PCI件数



上記グラフは2015年1月1日～12月31日の集計である。